

ノイエスだより

ノイエス朝日(朝日印刷工業株式会社)
前橋市元総社町六七番地
電話 027・2555・3434
FAX 027・2555・3435

テレビに出演する歌手や俳優を見ると二十〜三十年前からほとんど変わらない容姿をしているのに驚きます。また、まったく別人のように変わっている歌手や俳優にさらに驚き、自分もそんなように変わってきているのか・・・と時の経過を感じます。

「時」とは、出来事や変化を認識するための概念ですが、日常的には「時」は流れとしてとらえていることが多く、瞬間に時間を意識する場合、人々待つ間の時間。すべてが無意識のうちに時間に支配され生活をし、生きています。人は、明るくなったら起床し、暗くなったら寝る。そんなことは今となつては、ほぼ不可能な生活環境です。原発問題、節電のことを考えると確かに日本は明るすぎるのか?と感じます。東日本大震災以前に東北を旅し、帰りの新幹線の中から見える山形、福島町の灯りが少ないのを不思議に感じました。それほど、私たちの日常生活は明かりで満たされています。毎日報道されている原発の問題、夏の消費電力の問題・・・国民一人一人の意識と実行で何とかならないでしょうか・・・。

一時、飽食日本という報道が頻繁にされ、今では毎日のように医学関係の番組が組まれています。身体について、食事(栄養)や運動についての基礎的な知識を持っていないのに、専門的な疾病や薬品の名前が日常会話の中に入ってくる不思議さも感じます。

日本人は、多くのものを得てきていますが、多くの大切なものを知らず知らずのうちに失ってきているのも事実だと思います。

手を高々に上げて行動を起こすのも一つ。また、日常の生活の中でのちょっとした行動の積み重ねも大切なことです。家の電気のスイッチを一つ切ること。ゴミ袋を一つ減らすこと。そんなことから始めてみましょう。

先日、「ようこそ、アムステルダム国立美術館へ」というドキュメンタリー映画を見ました。最近話題のフェルメール「牛乳を注ぐ女」「手紙を読む青衣の女」、レンブラントの「夜警」などを所有する美術館ですが、大規模な改造計画(今までに市民が自由に往来していた通路を縮小して地下にレストランとミュージアムショップを作ろうとする)がアムステルダム市民を、巻き込む大騒動になり、館長の去就を問うという・・・美術館の内幕が見られます。二〇〇八年には工事も終了し、リニューアルオープンする予定だったのが、今は隣接するフリッツプス・ウイニングでのごく一部の作品展示になつているそうです。

美術館については、市民にとっての、県民にとっての、国民にとっての

世界中の人類にとっての文化遺産をどのように管理、展示、活用していくのか、多くの問題をかかえています。

その前に美術館は必要、不必要の話から始まってしまいます。そんなことを調べていたら「大阪市立近代美術館」のあり方検討委員会の提言書(一六頁)が目に入りました。なかなか興味深い内容であり、「はじめに」の部分に「従来型の美術館活動を前提とした「美術館・冬の時代」と言われる文化的危機を打ち破るものとして、大阪から全国に向けて発信するものであり、これを実現する大きな意義と緊急性を確信し、改めてここに提言するものである」と文章を結んでいます。力強い言葉であり、現在の社会状況の中で「芸術」と「人」の力を信じたいと思いました。(武藤)

ノイエス朝日〈展覧会のご案内〉

住谷正巳展 新作の現場 〈企画〉

会期 五月十二日(土)〜二十一日(月)

午前十時〜午後六時(最終日は午後五時)

作家在廊日 五月十二日(土)・十三日(日)

五月十九日(土)〜二十一日(月)

第四回 群馬工芸美術会五月展 〈企画〉

会期 五月二十六日(土)〜六月三日(日)

午前十時〜午後五時三十分(最終日は午後五時)

二十六名による近作の発表。そして「使う」を意識した作品を展示販売いたします。

第8回 QUILT HOUSA HISA

井口久恵パッチワーク教室作品展

会期 六月七日(木)〜十日(日)

午前十時〜午後六時(最終日は午後四時三十分)

木村 明 ガラス展 〈企画〉

〈花器・食器・オーナメント・オブジェ〉

会期 六月十六日(土)〜二十四日(日)

午前十時〜午後五時

〈ノイエスからのお知らせ〉 1

岡村喬生：歌と映画の夕べ inまえばし

映画上映 「プッチーニに挑む」岡村喬生のオペラ人生

監督 飯塚俊男(前橋出身)

ライブ&トーク オペラ歌手 岡村喬生傘寿の熱唱

トーク 岡村喬生×飯塚俊男

六月二十二日(金)午後六時開場 午後六時三十分開演

前橋市民文化会館 小ホール

入場料 前売券 二五〇〇円(当日券三〇〇〇円)

* 前売券は、ノイエス朝日で扱っています。

〈ノイエスからのお知らせ〉 2

ノイエスギャラリーの橋本恵が朝日印刷Dips・A(ノイエスの隣の赤い建物)に印刷の勉強のため、お手伝いに行っています。展覧会の案内状、作品集、フォトブック、Tシャツ、各種印刷グッズなど、お気軽にご相談に応じますので、お立ち寄り下さい。

Dips・A 平日 午前九時〜午後六時三十分

土曜 午前九時〜午後三時

日・祝祭日・年末年始は休業

Dips・A 電話 027・254・1212

* ノイエス朝日(ギャラリー)は、展覧会会期中以外は
休廊しています。お問合せは会期中にお願いします。

電話 027・2555・3434